


















# トラスツズマブ(ハーセプチン)+パージェタ+ドセタキセル療法を受けられる

説明医師  
説明看護師(外来)  
看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	
経過	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	入院2日目 入院3日目	
目標	治療に対する不安を表出できる	副作用が最小限で治療を終了することができる 感染予防の自己対策が理解でき実施できる 心身ともに安定した状態でトラスツズマブ(ハーセプチン)+パージェタ+ドセタキセル療法を受けることができる		
検査	身長、体重を測ります 外来で採血結果、体調確認を行ない、入院を決定します			
食事	制限はありません		(入院2日目~3日目) 朝食後、退院となります	
	朝食は 自宅で	 	   	
処置	体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります 	点滴前に留置針を挿入します		退院時にリストバンドを外します 
	リストバンドを装着します(退院日まで装着します)			
注射・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	 以下の点滴を行います(約6時間) 1) パージェタ 2) 生理食塩液 3) トラスツズマブ 4) 制吐剤 5) ドセタキセル 6) 生理食塩液  副作用を低減するための内服薬を開始します	点滴を1本行います 	退院後37.5℃以上の発熱があった場合には抗生剤の内服を開始します(毎食後1錠ずつ服用)  解熱しても3日分飲み切ってください 高熱が2日以上続く時は外来受診してください
	 制限ありません			化学療法室の説明があります(化学療法初回のみ)
行動	 シャワーできます			
説明	 医師より説明(外来または入院時) 化学療法について		(入院2日目~3日目)  医師より説明 退院後の治療計画、療養上の留意点について	
	 看護師より説明 入院生活について		 看護師より説明 日常生活の注意点について	
	 薬剤師より説明 持参薬確認 使用薬剤について			

\* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

\* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、

予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

35-Z51-12

2020.9.29 版

京都第一赤十字病院